

インストール時エラーコード対応マニュアル

■ インストール前のHDD診断方法について …… P2

■ よく発生するエラーコード一覧

エラーコード	原因	対応方法
・ 1030	Cドライブがブートドライブでない場合 (XP/VISTAの場合)	P3
・ 1040	Cドライブがブートドライブでない場合 (Windows7の場合)	P4
・ 1400	Cドライブの残余スペースが少ない場合(5GB未満の場合)	P5
・ 5007	リカバリエンジンがDOSモード上で動作中の場合	P6
・ 5009	Cドライブのファイルシステムが NTFSファイルシステムではない場合	P7
・ 5010	Cドライブがプライマリパーティションではない場合	P8
・ 5019	パーティションのタイプがMBRではない場合	P9
・ 5105 ・ 5307	Cドライブに連続したスペースが不足し システムファイルをつなげて書き込みできない場合	P10
・ 5205	リカバリエンジンからCドライブがあるHDDアクセスが 失敗した場合	P11
・ 5101 ~5019 ・ 5301 ~5307 ・ 5421 ~5429	ファイル生成エラー	P12
・ 9999	原因不明のエラー	P13

XcoveryTBインストール前のHDD診断方法

■ 物理破損やシステムが不安定な場合

XcoveryTBをインストールする際に必要なWindows側の設定以外にPCのHDD状態もチェックすることをお勧めします。

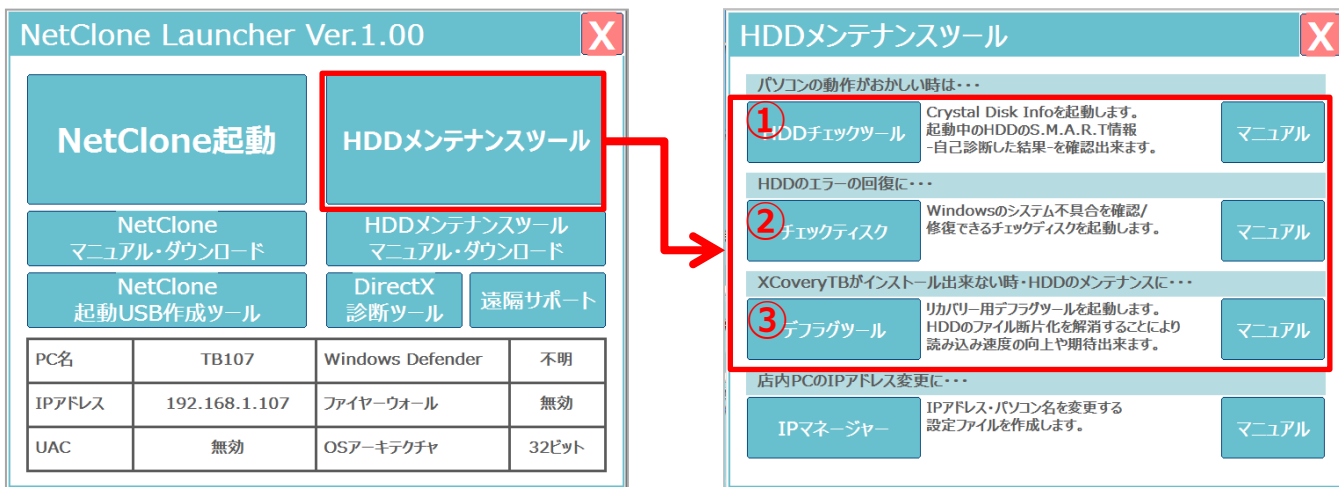
HDDが物理破損している場合や、システムが不安定な場合、リカバリーを正常にインストール出来ないことがあります。

■ HDD診断方法

下記URLより**NetCloneLauncher**をダウンロードし実行します。

http://www.tbpress.jp/support/netclone_download.html

[ダウンロード先]→①【WindowsからBOOT起動】NETCLONEランチャー



基本的に①から順番に各ツールを使用しHDD診断/修復を行います。
各ツールの見かたについてはランチャー内のマニュアルをご参照ください。

- ①…HDDの物理故障が無いか検査します。
- ②…システム上の不具合がないかどうか確認します。
- ③…リカバリーインストール前に連続した空き容量を確保します。
(本マニュアルP10に使用方法を記載しております)

Netclone Launcher マニュアル

<http://goo.gl/zKGIYj> (短縮URL)

■原因

OS内部に、以前利用していたリカバリーの残骸が残っている可能性があります。

■対応方法

①正常に動作しているPCからデータを丸々コピーする

正常にリカバリーが動作するPCから、データをコピーすることで復旧することができます。

データコピーに関しては弊社ソリューションの「ネットクローン」をお試しください。

▼ネットクローンについて

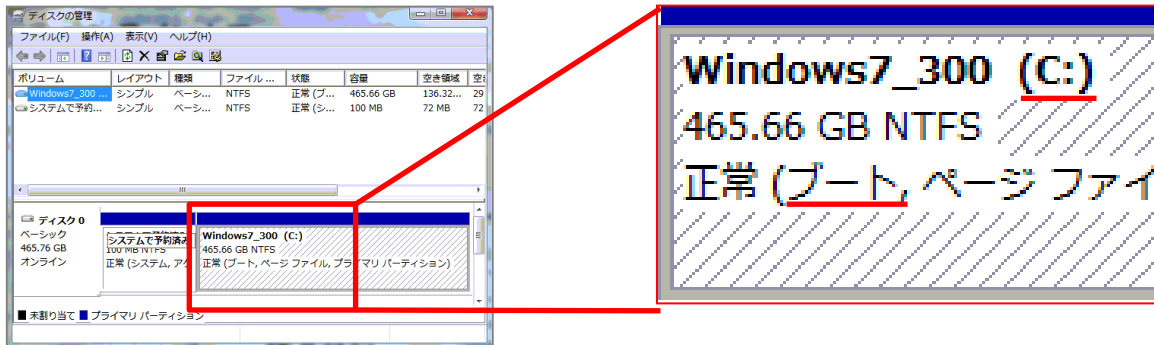
URL : <http://www.tbpress.jp/solution/netclone.html>

②Windowsの再インストールを行う

Windowsの再インストールにより、パーティション情報を再設定することができます。再インストール実施後、再度リカバリーのインストールをお試しください。

■原因

リカバリーが正常に動作するためにはディスクの管理で確認した際に「ブート」という表記がCドライブに無ければなりません。その他の英字の場合はエラーコード 1040 が発生します。

**■対応方法****①正常に動作しているPCからデータを丸々コピーする**

正常にリカバリーが動作するPCから、データをコピーすることで復旧することができます。

データコピーに関しては弊社ソリューションの「ネットクローン」をお試しください。

▼ネットクローンについて

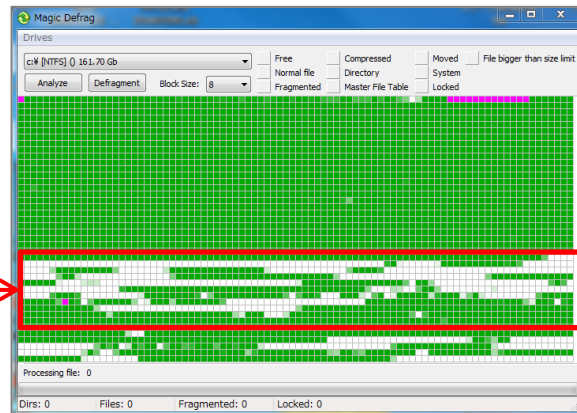
URL : <http://www.tbpress.jp/solution/netclone.html>

②Windowsの再インストールを行う

Windowsの再インストールでパーティション情報を再設定することができます。再インストール実施後、再度リカバリーのインストールをお試しください。

■ 原因

XCoveryTBをインストールするためには**5GB以上の連続した空き領域**が必要です。**図1**のような状態ですとリカバリーが入るスペースが見つからず、エラーコード 1400 が発生します。

図1**図2**

例) MagicDefrag を使用し HDD 内部の状態を見た場合

5GB以上の空き容量があっても**図2**のように、連続した空き容量が少ないとインストールが出来ない場合があります。

■ 対応方法

**不要なファイルやプログラムをアンインストールし
5 GB以上の空き領域を確保する**

5GB以上の空き領域を確保するために、下記手順を行なったのち再度リカバリーのインストールをお試ください。

- ① 不要なファイルや大容量のゲームタイトルを削除し、HDDの空き容量を確保します。
- ② NetCloneLauncher(本マニュアルP2)の「デフラグツール」を使用し、HDDの連続空き領域を確保します。

■原因

以前ご利用されていたリカバリソフトが完全に削除できておらず残骸が残っているため、リカバリーが正常に動作しない場合がございます。

HDDを複製して作成したPCにリカバリーをインストールした際に上記のエラーコード 5007 が出る場合は、大元のPCにリカバリソフトの残骸が残っている可能性が考えられます。

複製する際は、大元のPCにリカバリソフトの残骸が残っていないかご確認ください。

■対応方法

以前のリカバリソフトを完全に削除してから
再度インストールをお試しく下さい

リカバリソフトがバッティングを起こすとブルースクリーン等のWindows破損を引き起こす可能性があります。必ず完全にアンインストールを行ってからインストールをお試しく下さい。

※以前ご利用されていたリカバリソフトのアンインストール方法は各メーカー様にお問い合わせください。

リカバリソフトを完全にアンインストールしたPCから、データをコピーすることで復旧することができます。

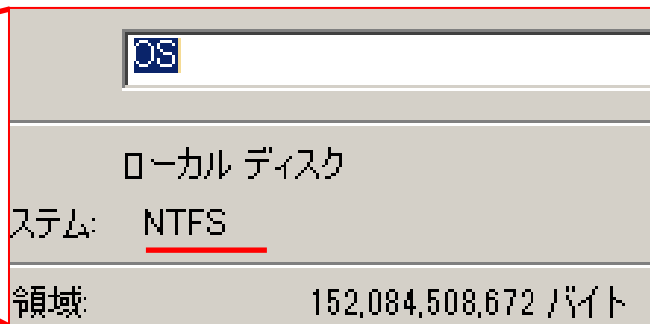
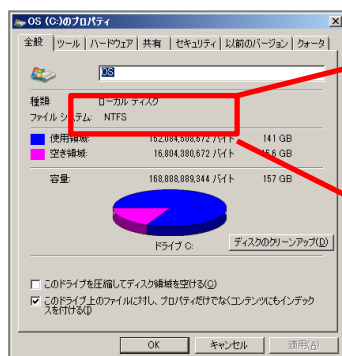
データコピーに関しては弊社ソリューションであるネットクローンをご利用ください。

▼ネットクローンについて

URL : <http://www.tbpress.jp/solution/netclone.html>

■原因

リカバリーはハードディスクのファイルシステムがNTFSでないと動作をしません。5009のエラーコードが出た際は、ファイルシステムがFATになっている可能性がございます。



NTFSでフォーマットされている場合の表記

■対応方法

ファイルシステムをFATからNTFSに変換してから
インストールをお試しください。

変換する際は、予めデータのバックアップを取った上で行ってください。
データが失われる可能性があります。
詳細な変換方法についてはPCメーカーにお問い合わせください。

■参考手順

[手順1] スタート→プログラム→アクセサリ→コマンドプロンプトを実行

[手順2] >のあとに **[convert c: /fs:ntfs]**と入力してEnter

[手順3] 「このボリュームのマウントを強制的に解除しますか? (Y/N)」
というメッセージが表示されます。「n」を入力してエンターを押します。

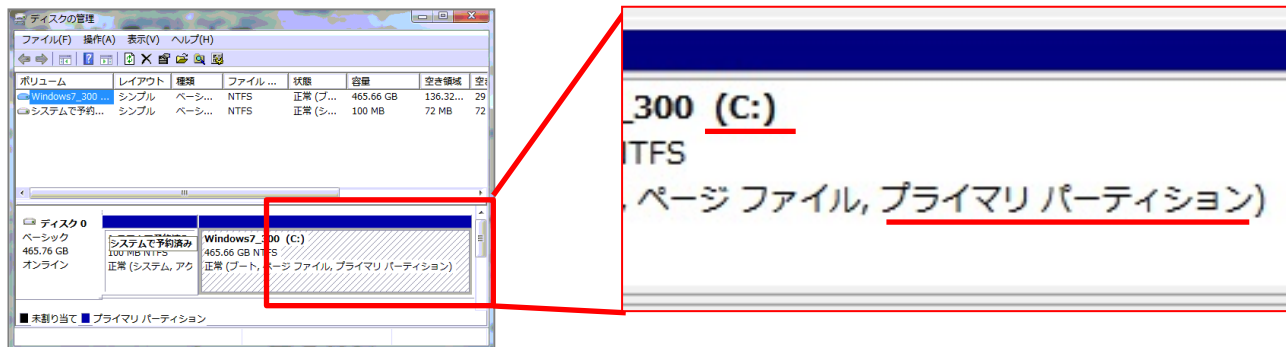
[手順4] 「次のシステム起動時にスケジュールしますか?」と
聞かれますので「y」を入力してエンターを押します。

[手順5] [exit]と入力してエンターでコマンドプロンプトを終了し、
パソコンを再起動します。

[手順6] Windowsが起動する前に変換が行われますので、起動したら再度リカバリーソフトのイン
ストールをお試しください。

■原因

リカバリーはCドライブが「プライマリパーティション」でないと正常に動作することができません。
プライマリパーティションがCドライブ以外のドライブの場合、エラーコード 5010 が発生します。



■対応方法

①正常に動作しているPCからデータを丸々コピーする

正常にリカバリーが動作するPCから、データをコピーすることで復旧することができます。
データコピーに関しては弊社ソリューションの「ネットクローン」をお試しください。

▼ネットクローンについて

URL : <http://www.tbpress.jp/solution/netclone.html>

②Windowsの再インストールを行う

Windowsを再インストールすることでパーティション情報を再設定することができます。再インストール実施後、再度リカバリーのインストールをお試しください。

■原因

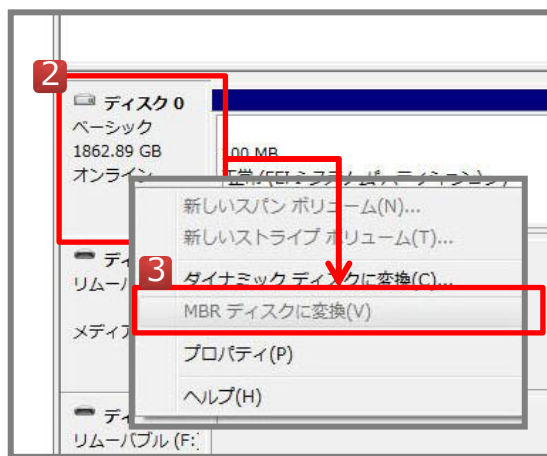
QuickBoot オプションは、GPTディスクには対応しておりません。
QuickBoot オプションのご利用を希望される場合、MBRディスクに変換する
必要がございます。

▼QuickBoot オプションとは

http://www.tbpress.jp/solution/recovery_quick.html

■GPTディスク確認方法

- 1 [スタート]→[プログラムとファイル
の検索]を開き、「diskmgmt.msc」
と入力しEnterを押下します。
- 2 起動しているボリュームの左部分を
右クリックします。
- 3 「MBRディスクに変換」という表記が
あった場合、そのPCのHDDの形式は
GPTです。



GPTディスクの場合の表記

▼【参考ページ】PCがMBRかGPTか確認する方法(外部リンク)

<http://pcsupport.happy-ritaiya.net/2010/10/gptmbr2tbhd.php>

■対応方法

GPTからMBRに変更をお願い致します

GPTからMBRへはWindowsを入れ直すことによって変更ができます。
詳しい方法はPCによって異なりますため、PCメーカー様へお問い合わせください。

通常版を使用しているのにエラーコード5019が表示され
る場合は、インストールしようとしているリカバリーの
バージョンをご確認ください

TBPRESS内、リカバリーダウンロードページより最新版をダウンロードし
インストールを試みてください。

エラーコード
5105～5307

Cドライブ(HDD)に連続したスペースが不足し
システムファイルをつなげて書き込みが
できない場合

■ 原因

HDDの中身が断片化(P5参照)しているとリカバリーが入り込める連続した領域がなくなってしまい、エラーコード 5019 が表示されます。

■ 対応方法

デフラグを行い、HDDの断片化を解消してください

NetCloneLauncher内デフラグツールよりFreeSpaceToolを起動してください。

▼NetCloneLauncher ダウンロード

http://www.tbpress.jp/support/netclone_download.html

[ダウンロード先]→①【WindowsからBOOT起動】NETCLONEランチャー

1 XCoveryTB導入準備ツール

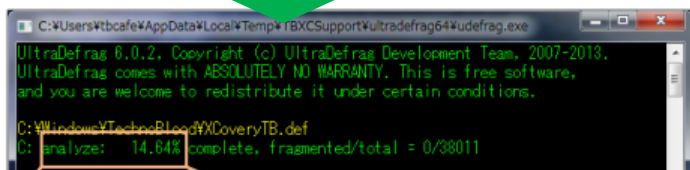
- 基本デフラグ: 1回目の実行はこちらを選択して下さい。
 - 完全デフラグ: 基本デフラグで失敗した場合は選択して下さい。
- ※完全デフラグの実行には数時間以上かかる場合がございます。



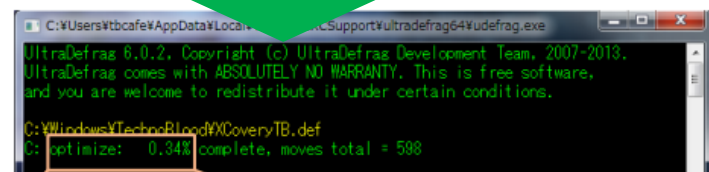
① ・基本デフラグ
リカバリーのインストールに必要な分のみをデフラグします。

・完全デフラグ
基本デフラグを行ってもインストールが出来ない場合はこちらをお試しください。
(時間がかかる場合がございます)

② チェック後デフラグ実行をクリックします。



C: analyze: 14.64% 「analyze」中はハードディスクのチェックをしています。100%までお待ちください。



C: optimize: 0.34% 「optimize」中は実際のデフラグ作業をしています。100%までお待ちください。

詳細に関しては本マニュアルP2の③をご参照ください。

■ 原因

HDDパーティションの構成に問題がある可能性があります。

リカバリーが正常に動作するためにはディスクの管理で確認した際に、「ブート」という表記がCドライブに無ければならないかつ、先頭にある必要があります。



ディスク 0	20.00 GB	200 MB NTFS	(C:) 445.56 GB NTFS
ベーシック 465.76 GB オンライン	未割り当て	正常 (システム)	正常 (ブート, ページ ファイル, クラッシュ)

“Cが先頭でないパーティションの例”

このような場合、正常にリカバリーがインストールできない場合がございます

■ 対応方法

①正常に動作しているPCからデータを丸々コピーする

正常にリカバリーが動作するPCから、データをコピーすることで復旧することができます。

データコピーに関しては弊社ソリューションの「ネットクローン」をお試しください。

▼ネットクローンについて

URL : <http://www.tbpress.jp/solution/netclone.html>

②Windowsの再インストールを行う

Windowsの再インストールでパーティション情報を再設定することができます。再インストール実施後、再度リカバリーのインストールをお試しください。

エラーコード
5101~5019
5301~5307
5421~5429

ファイル生成エラー

■ 原因

HDDの中に必要な領域が足りずに、リカバリーに必要なファイルが生成できなかった時のエラーです。

■ 対応方法

デフラグ(HDD内部の整理)を行い、HDDの断片化を解消してください

[FreeSpaceToolを使用したデフラグ方法]

NetCloneLauncher内デフラグツールよりFreeSpaceToolを起動してください。
(本マニュアルP10参照)

Windowsの再インストール
または正常動作するPCからの上書き(コピー)

Windowsのシステムファイルが破損している可能性があります。
Windowsの再インストールを行うか、正常に動いているPCからOSデータを丸々コピーしてくることで正常にインストールできるようになります。

▼ネットクローンについて

URL : <http://www.tbpress.jp/solution/netclone.html>

■原因

定義できないエラーです。様々な原因が考えられますので下記対応方法をお試してください。

■対応方法

HDD健康チェック・デフラグ・チェックディスクを行う

PCの環境に不良がある場合、リカバリーを正常にインストールできない場合がございます。

本マニュアルP2を参考に、PCの健康状態をご確認ください。

Windowsの再インストールを行う または正常動作するPCからの上書き(コピー)

Windowsのシステムファイルが破損している可能性があります。
Windowsの再インストールを行うか、正常に動いているPCからOSデータを丸々コピーしてくることで正常にインストールできるようになります。

▼ネットクローンについて

URL : <http://www.tbpress.jp/solution/netclone.html>